



Creative Application A18

メディア実装3

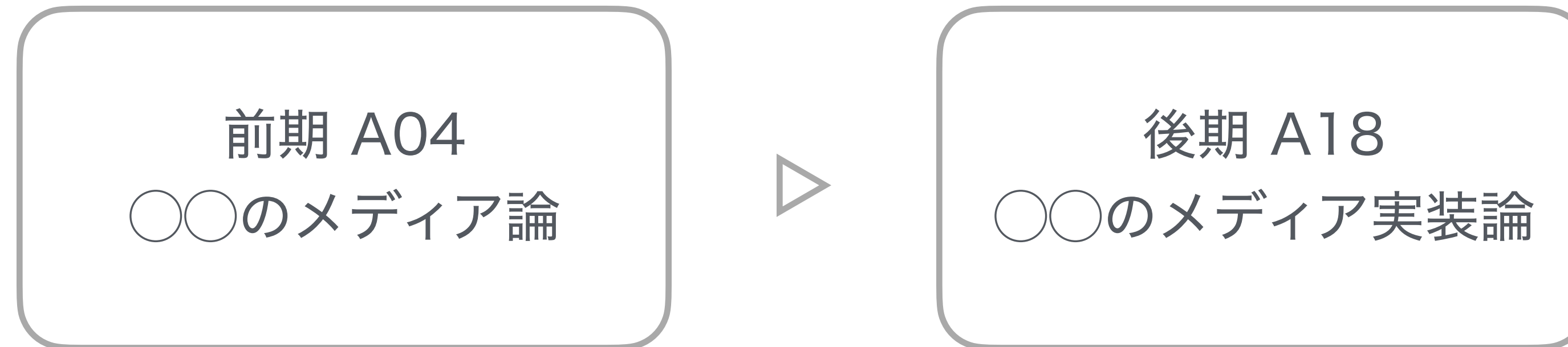
「コミュニティ」 伝達と交流を促進させる

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

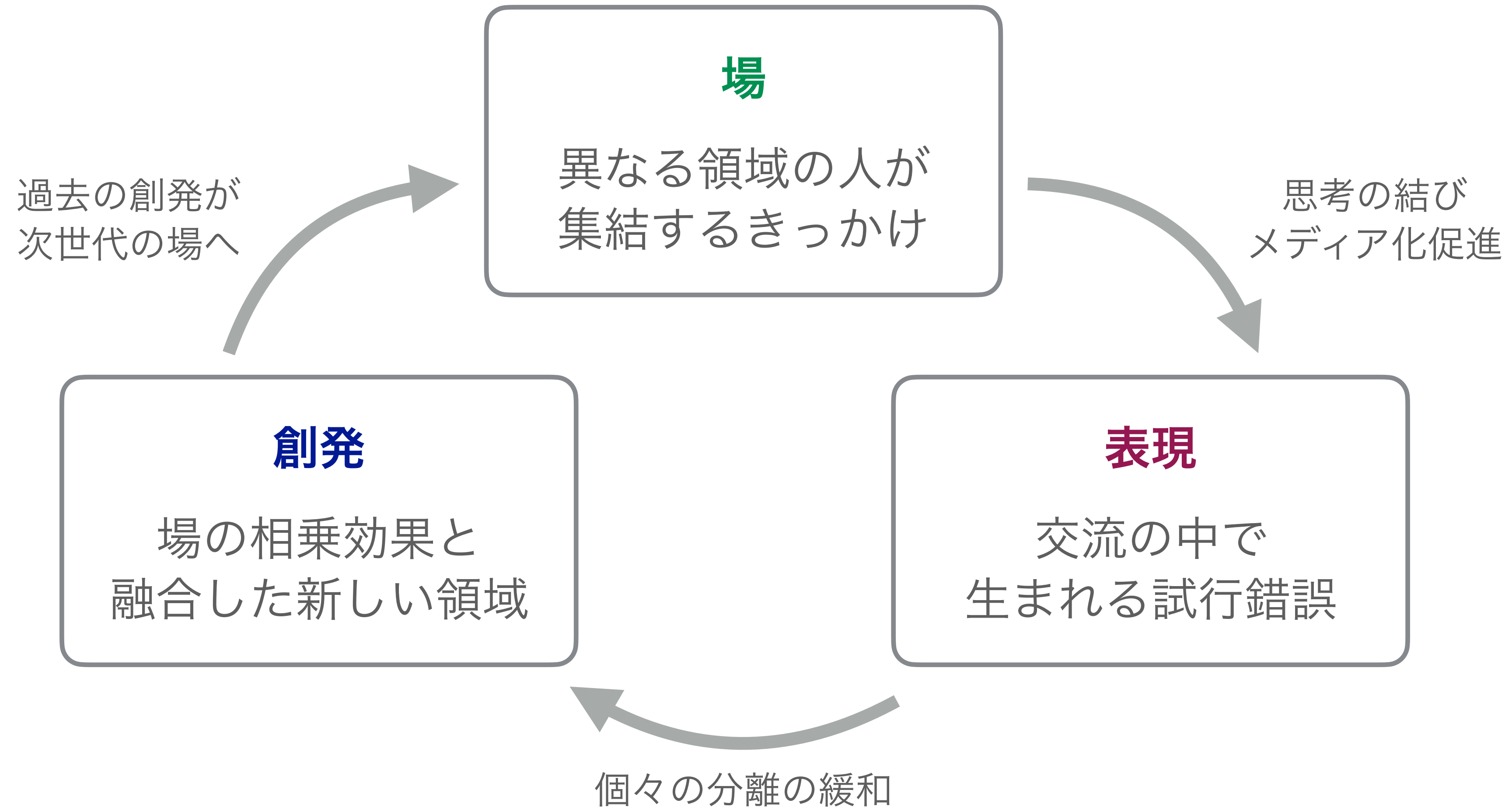
- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます, 答えのない議論があります
- ・ 前半で1テーマの紹介, 後半でテーマを深める議論を行います
- ・ 前期と後期がリンクしています. 予習復習の参考にしてください



本日のテーマ

- ▶ **場をつくり、ふんだんに交流し、表現を生み出す**

前期概要 メディア・サイクル



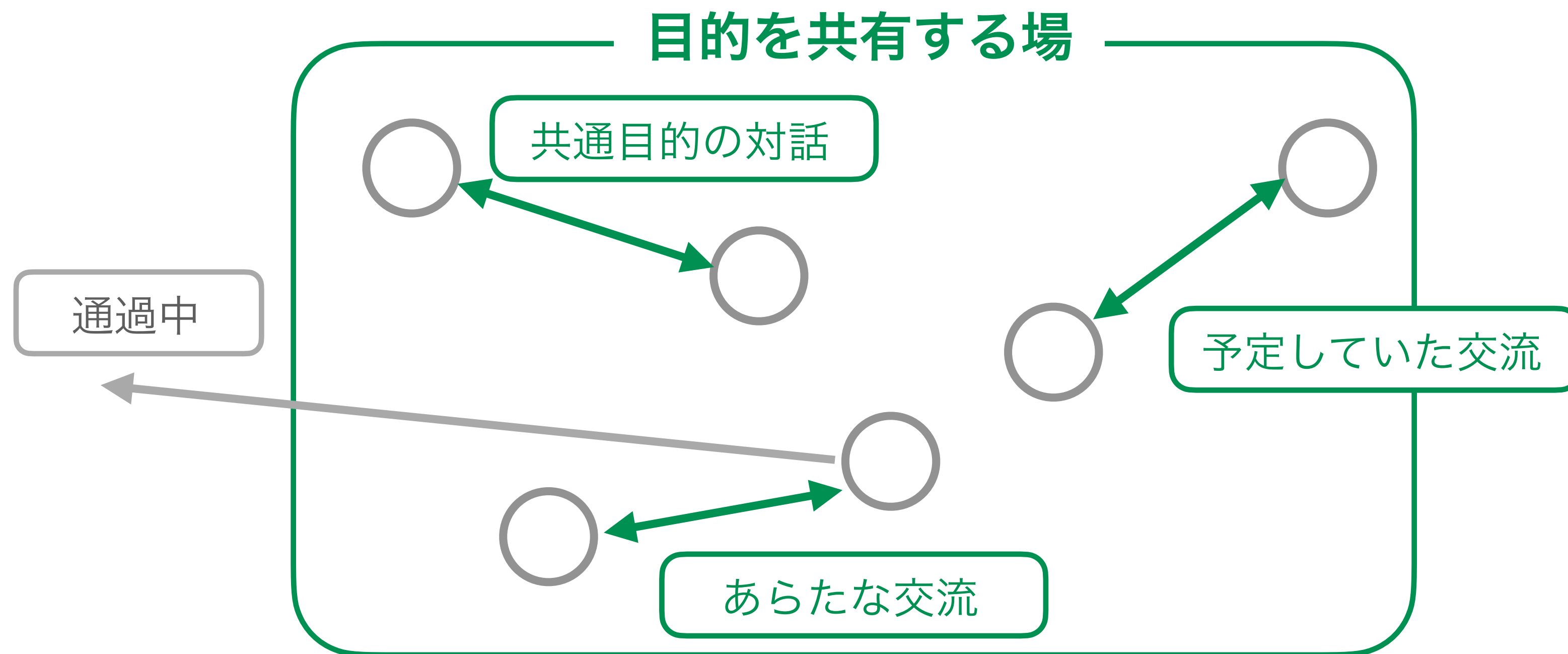
場の形成まで

- ▶ 目的空間へ向かうきっかけを得る
- ▶ 同じ目的の共有, 個人の欲求, 通りすぎるなどさまざまな理由で近づく



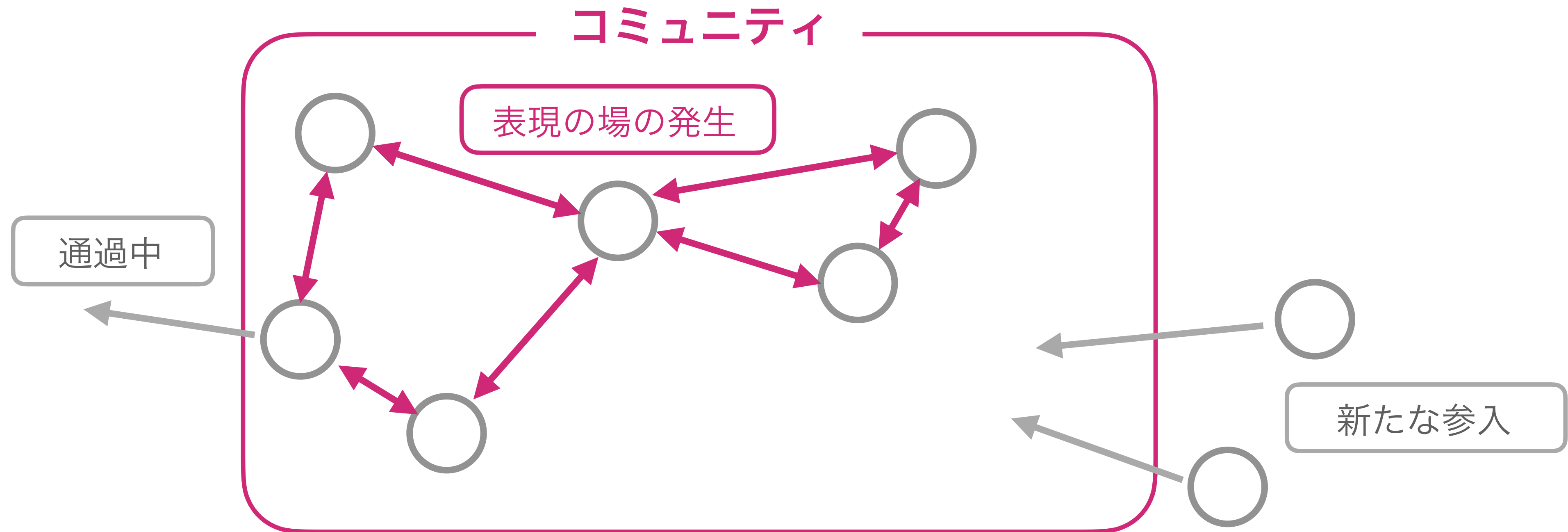
場の励起

- ▶ 個人間の距離が近くなると交流が生まれる
- ▶ 交流がまとまってくると、場が形成される



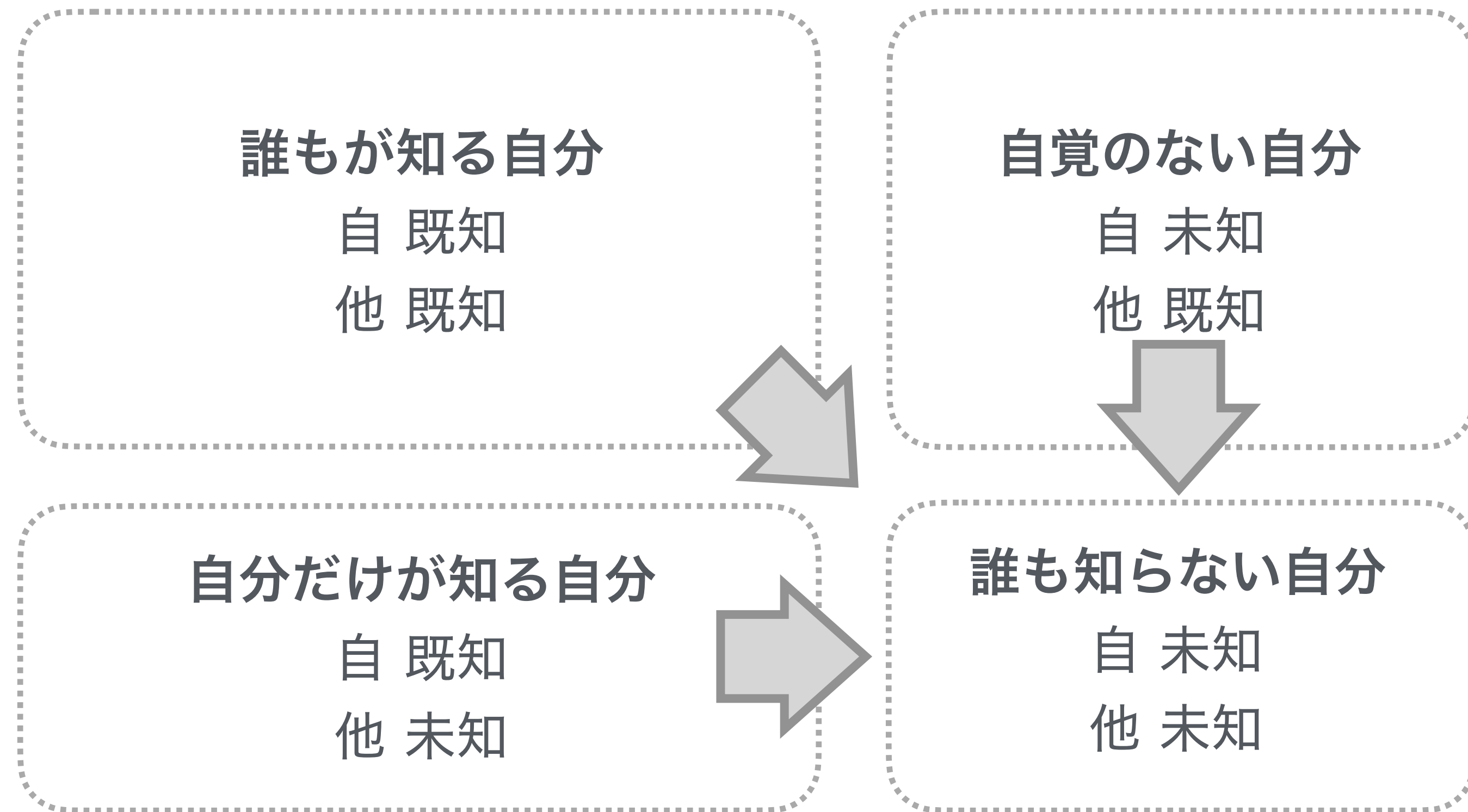
場の交流醸成と表現の発露

- ▶ 場の中で交流が増え、深まると表現が生まれ出す
- ▶ 豊かな表現に溢れるコミュニティが形成される



多くの他者から得る自分のこと

- 多くの他者視点は、自分への認識をさらにクリアにできる



まとめ

- ▶ メディアの営みは、場→表現→創発→場のサイクルを続けている
- ▶ メディア化を促進するには、まず集まる場が必要
- ▶ コミュニティ
 - ▶ 個々人の独立した行動が似た指向性を持つと自然と集まる
 - ▶ 集まったことを活かして、交流頻度を高め、場を醸成する
 - ▶ 交流活発な場から、表現活動は発生していく

本日の議論・考察一助

- a. 各々の目的で向かってくる個人を場に迎えるコツはなんだろうか
- b. 交流から表現を発露させるための勘所はなんだろうか
- c. **具体的にどのようにコミュニティを構築するかの議論**

次回予定

メディア実装4

「アーカイブ」記録を残す

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004